

消防署に特化した安心安全
経済的な気象システム

消防気象観測システム C-WTFD

概要

既設の機器の代替だけでなく、場所を選ばずに導入できます。
通信機能付きでパッケージ化されており、余計な手間なく現場に置くだけで、データのモニターやメールによる注意・警報レベルメールを受信することができます。パトライトも装備可能なので、現業作業の方でも異常な状況を容易に。また、カメラを搭載して、遠隔監視することも可能です。

黒球温度を追加することで、WBGT（熱中症指標）も監視して屋外での安全作業に役立てることができます

- 実効湿度の自動演算
- メールによる注意状況喚起
- 火災だけでなく、防災関連の情報も集約
- 屋上に電源、通信 LAN がなくても設置可能



消防気象観測システム

特徴

- 消防署に必要な、風向風速、気温湿度、雨量の基本要素
- 実効湿度の計算値
- 寒冷地では、更に積雪深、降雪量
- お知らせメール機能(警報・注意報)
- オプションで気象台の注意報、警報の表示、近隣アメダスなどのデータ表示、地震計など
- 気象庁検定品で構成
- 検定の更新（5年毎）の費用削減
- 気象台への観測所届けサービス付属

仕様

型式	C-WTFD	
搭載可能センサー	風向風速	CYG-5103
	気温湿度	CVS-HMP155
	シエルター	CYG-41003 / CPR-AS1
	日射計	CHF-SR05
	WBGT(黒球温度計)	C-BB-15cm
	雨量	CTKF-1
	積雪深計	C-SR50A
データ計測	データロガー	シンプルロガー C-CR300 / CR800 / CR1000X
	メモリー	20万データ
	測定サンプリング	10秒毎
	データ保存	10分、60分毎
データ回収・モニター	通常	1時間毎(ポーリング)
	閾値を超えたとき	警戒値を超えた場合その時点で、コールバック
	データモニター方法	Web画面または、携帯画面
	データの回収方法	Web画面より年月を選択してダウンロード(CSV形式、1ヶ月単位)
オプション 注意、警戒設定	閾値設定	各要素2点、H、H、初期設定(変更可能)
	メール送信タイミング	フェイスが変わったとき 通常→注意、注意→警戒、通常→警戒 それ以外に確認用に午前・午後1回ずつ
	メール送信時間帯	8-18時(変更可能)
	設定最大宛先数	10カ所
	回転警告灯(パトライト)	手動停止
	オプション警告	注意レベル：黄色、警戒レベル：赤色 通常：青
クローズドの場合		消防署内、イントラネット、LAN、無線
オープンの場合	通信キャリア	docomo/au/softbank
	データ回収サーバー	CDS オープンの場合は、消防署内LANとは切り離されます。
電源	太陽電池 20W、内蔵蓄電池:24Ah、または AC100V	
全体寸法・重量	約 1800H×1200φmm / 約 30kg	
オプション	カメラ監視	